科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等				
福祉サービスの組織と経営			必修(社) 選択(精.心)	2	3.4	後期				
担当教員		研究室	電子メール	ID	オフィス	アワー				
田村 正人		講師控室	kyoumu		Teams にて対応					
授業の目的・概要	を進める。教科書や配布資料から気になるワードを自分なりに文献で調べることで探求する姿勢 に着けてほしい。講義の質問や疑問についてはオフィスアワーかメール、リアクションペーパー									
学習上の助言	け付ける。 言 社会福祉士国家試験科目と重複する部分もあるため、関連づけて復習しておくことが望ましい。									
教科書	新・社会福祉士養成講座11 第5版 福祉サービスの組織と経営/編:社会福祉士養成講座編集委員会/中央法規出版									
参 考 書	指定参考図書なし									
		「べき行動目標		関連卒業認定・学位授与方針						
	説明することができ			HSU(2)						
			し説明することができる			HSU(2)				
	供主体である組織や団 織と経営に関する基礎				HSU(5)、社(2)					
					HSU(2) 社(2)					
					HSU(6)					
	<i>y</i> 12.20 (1)		計画		112 0 (0)					
П	学習内容等		授業方法	学	習課題・学習時間	引 (時間)				
	/ョン (授業の進め方、 ロポイント)、経営につい		同時双方向型授業	シラバ	スを把握してお の内容を把握し	<. ₂				
2 ービスの提供主理について学ぶ		ーービスの経営管	同時双方向型授業	教科書でくる	等(第1章第1節)。 。) を読ん 4				
	おける組織と経営②福 おける経営環境、経営		同時双方向型授業	教科書でくる	等(第1章第2節)。 。) を読ん 4				
法人とは、法人	の基本形態と統治の機 へスとガバナンスについ		同時双方向型授業	教科書でくる	等(第2章第1節)。) を読ん 4				
	養、役割、課題につい		同時双方向型授業	教科書 でくる	序(第 2 章第 2 節 。) を読ん 4				
9 理解を深める。	運営についてグルーフ	プワークを通して	同時双方向型授業	でくる		4				
7 特定非営利活動 法律、制度、定	法人(NPO) 「義、役割、課題につい	て学ぶ。	同時双方向型授業	でくる						
	ついて GW を通して理		同時双方向型授業	でくる		4				
9 の必要性につい)まとめ(その他の組織)て学び理解する。)組織と経営の基礎理論		同時双方向型授業	でくる	等(第 2 章第 4 節 。 等(第 3 章第 1, 2	4				
戦略、事業計画			同時双方向型授業	を読ん	<i>、</i> でくる。	4				
基礎理論、集団	組織と経宮の基礎埋命 力学、リーダーシッフ 管理運営の方法① サ	『について学ぶ。	同時双方向型授業	を読ん	¥(第3章第4,5 √でくる。 ¥(第4章第1,2	4				
12 ビスマネジメン	/官理運営の方法① ツ /ト、サービスの質の評 /管理運営の方法②サー	価について学ぶ。	同時双方向型授業	教科書読んて		4				
13 応とリスクマネ いて学ぶ。	ジメント、サービス携		同時双方向型授業		等(第4章第3,4 ぎくる。	(節)を 4				
14 人事管理と労務 て学ぶ。	管理運営の方法③ 管理人事・労務管理、		同時双方向型授業	読んて		4				
理、労働管理、	管理運営の方法④ <i>会</i> 戦略的広報について学		同時双方向型授業	教科書 くる。	ち(第 6,7 章)を	き読んで 6				
武 定期試験 達成度評価・評	価のポイントを参照									

知 思 総 合 力 発	調性・リーダー		試験 60 30	レポート	成果発表	ポートフォリオ O	その他 40	合計 100	
知言	識・技術力 考・推論・創造 調性・リーダー			0	0	0	40	100	
思想	考・推論・創造 調性・リーダー	<u></u> 造する力	30				10	100	
総合力を発	調性・リーダー	造する力		0	0	0	0	30	
総合 協 発	調性・リーダー	思考・推論・創造する力		0	0	0	0	20	
力 発		総 協調性・リーダーシップ		0	0	0	10	10	
	表・表現伝達す	十る力	0	0	0	0	0	0	
指標取組	ミュニケーショ	ュニケーション力		0	0	0	10	10	
	組みの姿勢・意	みの姿勢・意欲		0	0	0	10	10	
問題を発見・解決する		やする力	10	0	0	0	10	20	
		評価	田のポイント				フィードバ	ッカの古法	
評価方法	評価方法 行動目標		評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法		
試験	試験			験を実施して評価する。試験は講義で用いた教科書、ら出題するので、予習と復習を行い理解度を深めるこ記試験) 記試験)				試験結果を掲示する。	
レポート	① ② ③ ④ ④ ⑤ ⑥								
成果発表	① ② ③ ④ ④ ⑤ ⑥								
ホ° ートフォリオ	① ② ③ ④ ④ ⑤ ⑥								
その他	①	講義中に理解を ションやグルー 内容等を含め、	プワークを実	施する。質問、	リアクション		授業で提出しョンペーパー 時に評価をし	は次回授業	

達成度評価

Microsoft Teams をつかった同時双方向型授業を行う。

課題ダウンロードや映像共有を行うため授業時は通信容量が無制限の $\mathrm{Wi} ext{-}\mathrm{Fi}$ 環境を奨励する。

尚、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。

【履修についての条件】

*社会福祉士、精神保健福祉士国家試験受験を希望する者は必ず履修すること。

【受講する際の注意事項】

- ・授業中の私語やスマートフォン等の電子機器類の使用は禁止する。
- ・受講態度に問題がある場合、注意しても守れない学生については退室をしてもらう。

教員の実務経験:社会福祉士として認知症高齢者や知的障害者、精神障害者の成年後見人の受任や障害者の権利擁護法人の運営をして8年の実践経験。

実務的授業の内容: テキストの項目やシラバスの内容に沿って、教員が実践してきた事例(個人を特定できないよう加工)を用いたり、実践内容をソーシャルワークの基本に当てはめて説明を行うことで、学生が科目内容をより具体的に学ぶことができるように学習を進める。